

決算説明資料

2025年3月期(2024年度)

第2四半期(中間期)決算

2024/04~2024/09

TACHI-S CO.,LTD.

2024年11月22日



東証プライム 証券コード 7239

皆さまこんにちは、社長の山本でございます。

本日は大変ご多忙の中、当社の2025年3月期 第2四半期決算説明会にご参加いただき誠にありがとうございます。

世界的に進むインフレや中国での日系自動車メーカーの販売苦戦、また人材確保やその維持などの事業運営上の諸課題に対処している中、ステークホルダーの皆様には日頃から当社の諸活動にご理解を賜り心より感謝申し上げます。

本日は決算説明に加え、中期経営計画Transformative Value Evolution(TVE) に関する活動状況についても説明させていただきます。

商 号 : 株式会社 タチエス
 本 社 : 東京都青梅市末広町 1 - 3 - 1
 設 立 : 1954年4月
 資 本 金 : 90億40百万円
 売 上 高 : 2,929 億円 (2024年3月期 連結)
 社 員 数 : 10,474 名 (2024年3月期 連結)
 株 式 : 東京証券取引所 プライム市場
 事 業 内 容 : 自動車シート製造業

当社タチエスのプロフィールは、ご覧のとおりでございます。

1. 2025年3月期 第2四半期 決算実績

2. 2025年3月期 通期 業績見通し

3. 上期事業活動

4. 株主還元

まず初めに2025年3月期 第2四半期決算の実績について、説明いたします。

単位：億円
(億円未満切捨て)

	23/09	24/09	増減額	増減率 (%)
売上高	1,377	1,451	74	5.4
営業利益	17	26	8	46.8
経常利益	18	17	-0	-5.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12	9	-3	-25.4

<24/09 決算概況>

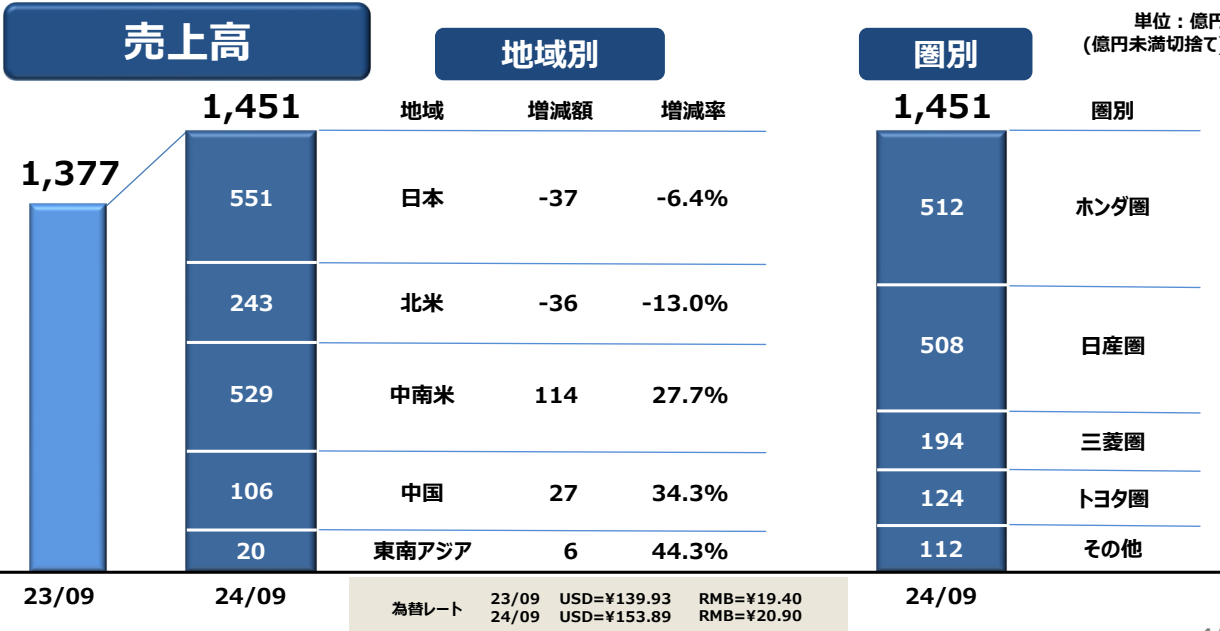
- ◆ 売上高及び営業利益につきましては、日本、北米、中国における販売台数の減少はあったものの円安による為替換算影響、また前年度より継続して取り組んできた収益改善の効果により、増収増益となりました。
- ◆ 経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、メキシコにおけるドル高ペソ安影響による為替差損に加え、北米関連会社のインフレ及び為替影響、また中国関連会社の貸倒引当金計上に伴う持分法投資損失の計上を行いました。不動産売却による特別利益等により、前年同期と同水準となりました。

3/23

第2四半期は前年同期に対しまして、売上高が 1,451億円で 74億円の増収となり、また、営業利益は 26億円で 8億円の増益となりました。

決算概況は記載の通りですが、次のページ以降でこれらの内容について説明いたします。

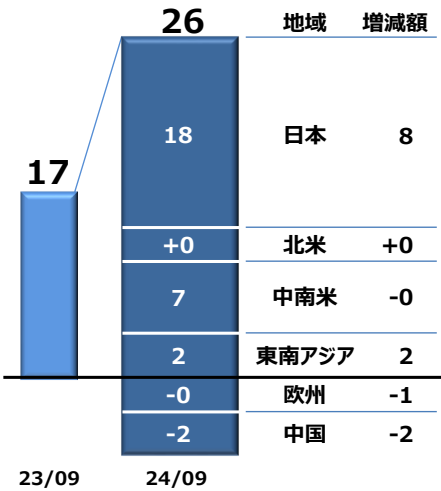
単位：億円
(億円未満切捨て)



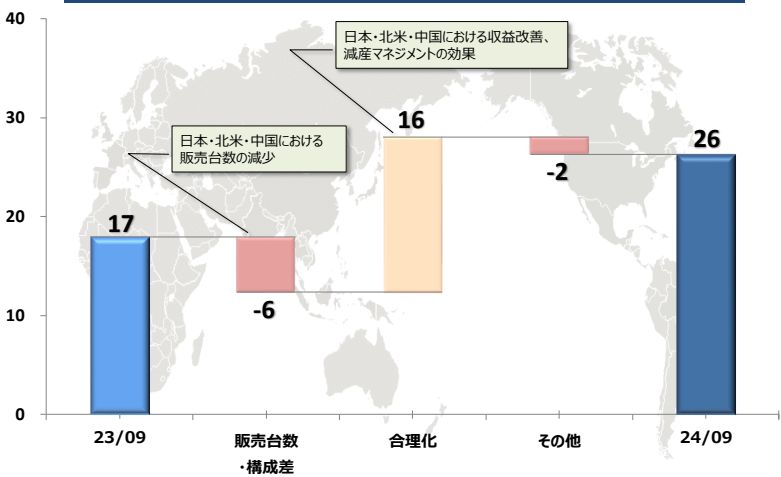
売上高は、日本、北米、中国における販売台数の減少はあったものの、円安による為替換算の影響に加え、中南米において販売台数が増加したことにより、増収となりました。

営業利益

単位：億円
(億円未満切捨て)



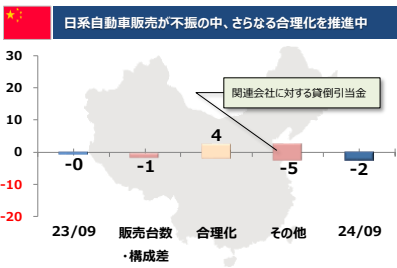
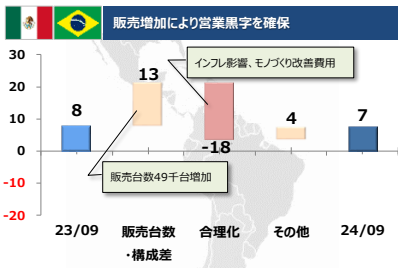
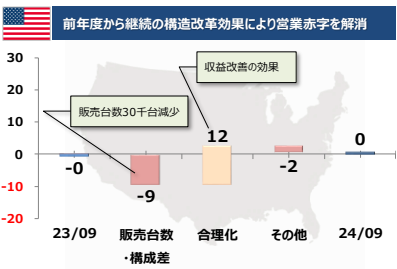
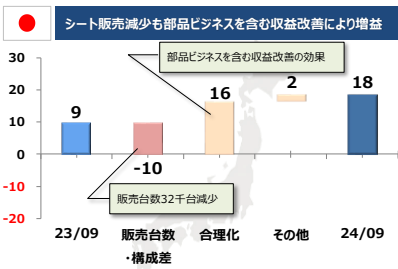
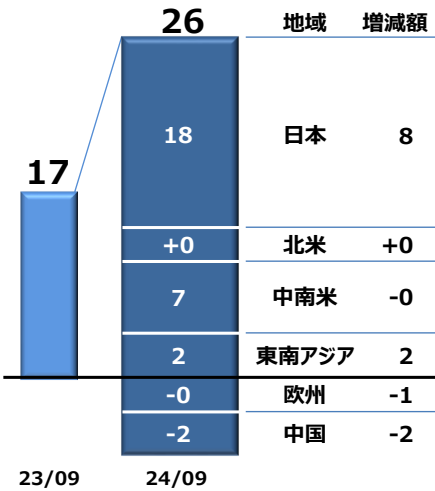
販売台数減少の中、前年度より継続して取り組んできた収益改善の効果により増益



営業利益は、販売台数の減少はあったものの、前年度より継続して取り組んできた収益改善の効果及び、減産による影響を最小化するマネジメントを徹底したことにより、増益となりました。

営業利益

単位：億円
(億円未満切捨て)



地域毎に営業利益の増減要因を見ますと、日本においては、販売台数が減少しましたが、部品ビジネスを含む収益改善の効果により増益となりました。

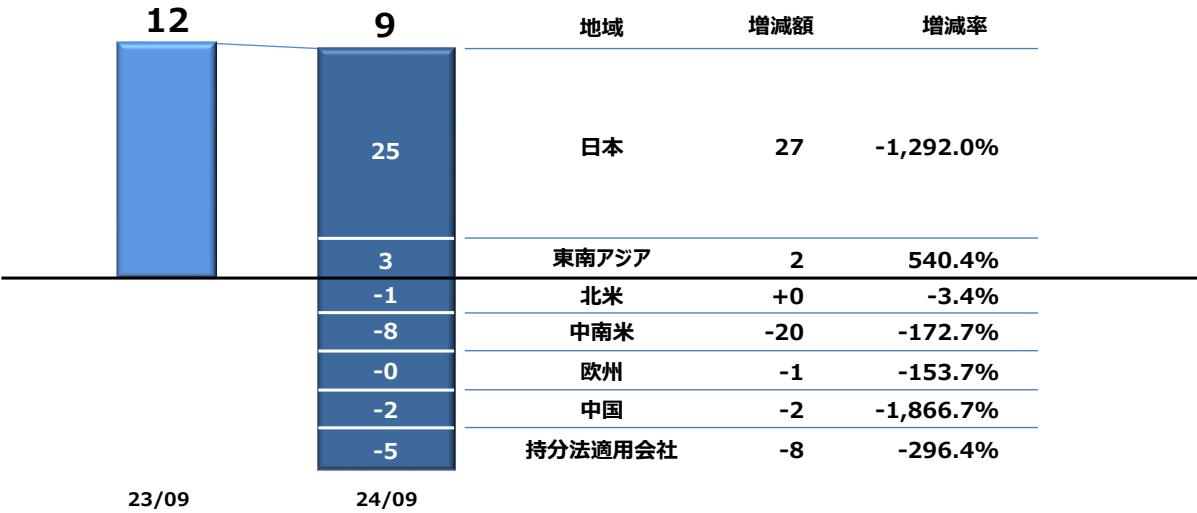
北米でも、販売台数が減少しましたが、昨年度より継続して取り組んできた収益改善の効果により、黒字に転換しました。

中南米においては、インフレ影響や新車立ち上げに伴うモノづくり関連費用の計上を行いました、販売台数の増加により営業黒字となりました。

中国では、日系自動車メーカーの販売不振による影響、また関連会社に対する貸倒引当金を計上しましたが、継続的な合理化の実施によりその影響を最小化しました。

親会社株主に帰属する
四半期純利益

単位：億円
(億円未満切捨て)



親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の増加に加え、日本において工場/事業所再編の一環として不動産売却による特別利益を計上しましたが、一方で、メキシコにおける為替差損の計上、北米及び中国関連会社の持分法投資損失の計上により減益となりました。

1. 2025年3月期 第2四半期 決算実績

2. 2025年3月期 通期 業績見通し

3. 上期事業活動

4. 株主還元

次に、11月14日付け 決算短信の中で修正しました、2025年3月期の見通しについて説明いたします。

単位：億円
(億円未満切捨て)

	通期見通し 【前回 5/15発表】	通期見通し 【今回発表】	増減額	増減率 (%)	前期 通期実績 【ご参考】
売上高	2,870	2,798	-72	-2.5	2,929
営業利益	73	67	-5	-7.5	72
経常利益	82	58	-24	-29.3	87
親会社株主に帰属する 当期純利益	78	75	-3	-3.8	54

<25/03 通期見通し>

- ◆ 売上高は、中南米での為替変動による換算差額に加え、中国での得意先減産影響を受け、減収となる見込みです。
- ◆ 経常利益は、メキシコにおけるドル高ペソ安影響による為替差損に加え、北米関連会社のインフレ及び為替影響、中国関連会社の貸倒引当金計上に伴う持分法投資損失の計上等により、前回予想を下回る見込みです。
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益については、上記の減益影響はあるものの、北米における収益構造改革の早期の実現により減益幅は縮小の見込みです。

通期の見通しですが、前回公表時と比較して減収減益となる見込みです。

これは北米や中南米における為替影響、中国での得意先の減産影響によるものです。

また、親会社株主に帰属する当期純利益については、北米の収益構造改革の早期の実現により、減益幅を可能なかぎり圧縮していきます。

1. 2025年3月期 第2四半期 決算実績

2. 2025年3月期 通期 業績見通し

3. 上期事業活動

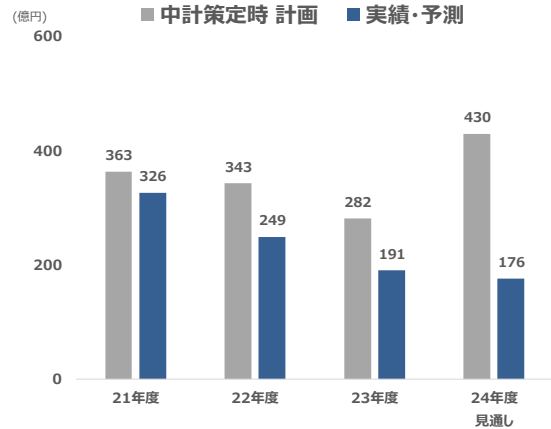
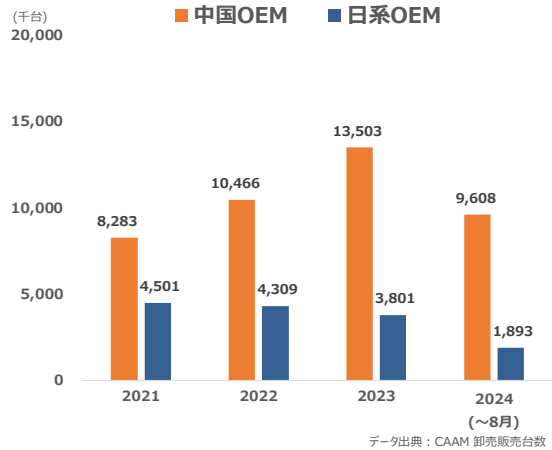
4. 株主還元

続きまして、上期事業活動のトピックスを紹介させていただきます。

日系OEMの販売台数の減少を受け、当社の売上高も大きく減少

■中国販売台数実績 2023年 対 2021年
中国OEMの台数は63%増加、日系OEMは15%減少

■当社売上高（連結）への影響
23年度の売上は21年度に対し30%減少



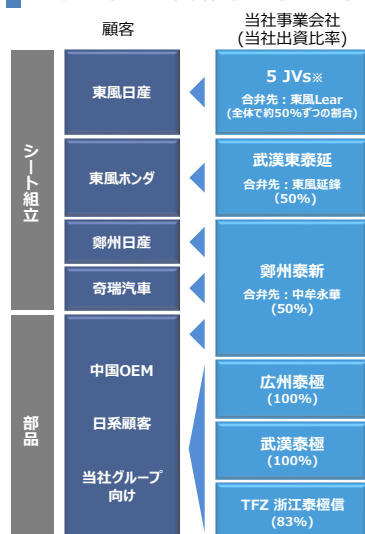
初めに、IR面談などでも多くの御質問を頂いております中国における当社の対応状況を説明させていただきます。

まず、左側のグラフは、2021年から2024年8月迄の日系OEMと中国OEMの自動車販売台数を示しており、中国OEMの販売台数は、2023年で1,300万台となり、2021年比で63%伸長しています。直近の関連ニュースとしてBYDの10月単月の販売台数が50万台を超えたと報道されましたが、その勢いを示すものです。

一方で、日系OEMの販売台数は同じ期間で15%減少しておりこの傾向は、2024年に入っても続いています。この様な環境の下、当社連結売上高にも影響を受けています。右のグラフは当社の中国における連結売上高を示すものですが、23年度の売上高は、21年度の326億円より30%減少し、191億円にとどまりました。24年度見通しも現中計の当初計画値と比較すると約5割にとどまっています。

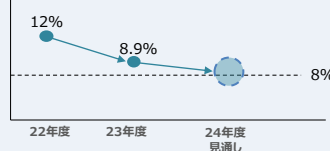
中国ビジネスはパートナー戦略も取り入れて展開

対象顧客は日産、ホンダに加えて、他の日系OEM、更に中国系ではシート製造では奇瑞汽車、部品ビジネスではBYD他複数社
それらパートナー主体会社利益（持分法利益）を加味したROICはFY23までは8%以上を維持



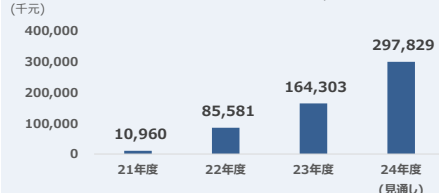
※5 JVs：広州泰李、大連DLT、鄭州DLT、武漢DLT、襄陽DLT

ROICの推移(中国リージョン)



中国OEM向け部品ビジネス

24年度の売上見通しは、21年度比約27倍に拡大



今後の対応の方向性について (検討中)

- ・ パートナーの特性や強みを鑑みた戦略と方策
- ・ 中国OEM向け部品ビジネスの更なる拡大
- ・ 輸出拠点としての活用

- ・ 中国ビジネスの戦略詳細は2025年5月発表予定の次期中期経営計画の中で公表予定

こちらのスライドは、当社の中国の事業体制と事業概況を示すものです。

中国でのビジネスの事業展開は、現地パートナーと合併会社を設立し、日産、ホンダ、中国OEMを中心に取引をしております。先の頁の通り、日系OEM向けの販売は苦戦しておりますが、中国OEM向けとしては奇瑞汽車やBYD向けなどの販売が好調に推移しております。

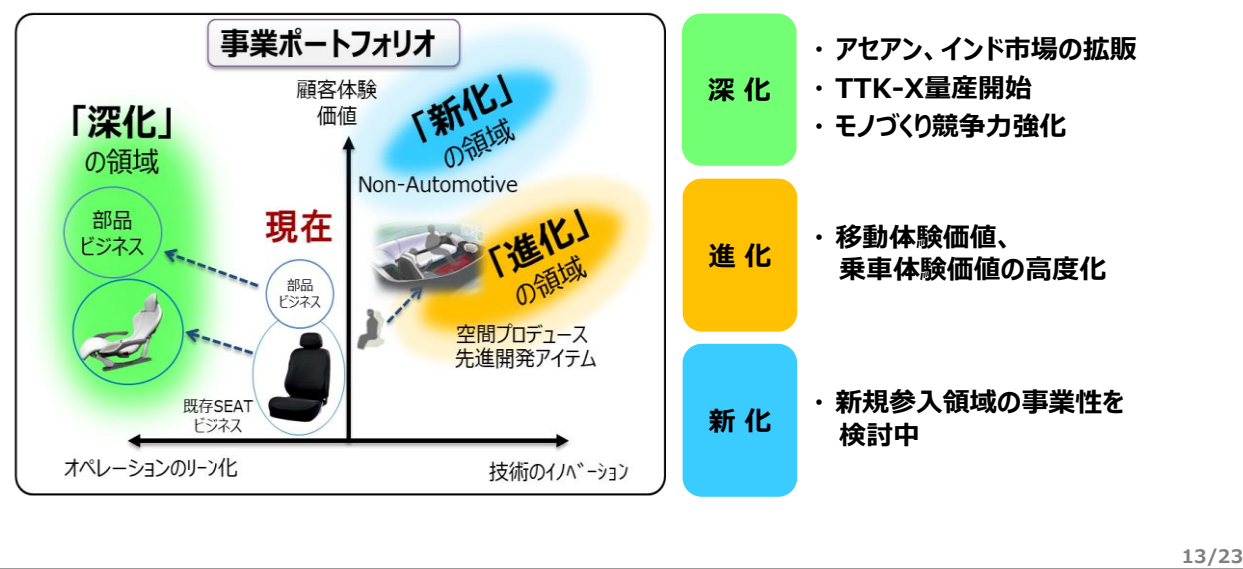
その結果として、パートナーが主体の会社の利益、すなわち持ち分法利益を加味したROICは8%以上を維持しています。また好調を維持している部品ビジネスは、高い競争力と品質への取り組みが評価され、24年度の売上は21年度比、約27倍の約3億元にまで増加する見通しです。

今後の対応については現在検討中ですが、現地パートナーの特性や強みを活かした戦略と方策を立て、変化の激しい世界最大の自動車市場である中国での事業展開をより効果的なものにしていきます。併せて、好調な部品ビジネスの更なる拡大、また輸出拠点としての活用も念頭におき戦略を見直しています。

中国の事業戦略内容については、来年5月に予定しております次期中期経営計画の中で説明したいと思っております。

3つのシンカで事業ポートフォリオの変革に向け活動中

TVE* : Transformative Value Evolution
中期経営計画



次に、TVE事業戦略ではこの図が示すように、3つの“シンカ”を通じ、事業ポートフォリオの変革に取り組んでおります。

緑色で示す“深いシンカ”においては、モノづくりの徹底したリーン化によって収益性を高め、そこで得られた経営資源をオレンジ色で示す“進むシンカ”と青色で示す“新しいシンカ”の領域に成長投資を行いイノベーションを起こしていきたいと考えています。

次ページ以降で、これらの3つの「シンカ」での取り組みについて説明させていただきます。

アセアン

■ OEMニーズへの迅速なアプローチ

- フレームビジネスにおいて3車種受注
- 得意先拠点への隣接工場の設立・稼働開始（2023年10月）
- 更なるビジネス拡大に向け工場の拡大を計画中（2025年4月）



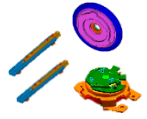
■ 競争力のあるパートナーとの協業を通じたアセアン各国での部品ビジネスの拡大の検討



インド

■ 部品ビジネスの更なる拡大

- 商談状況
 - ・ リクライナー ビジネス 2件受注、追加受注に向け 商談中
 - ・ スライド、リフタービジネス獲得に向けマーケティング 活動中
- 既存OEM向け、日本、インド両サイドからマーケティング活動中
- インドOEM主要シートサプライヤーへ機構部品をマーケティング活動中



■ シートビジネスへの参入

- OEMよりRFQ 3件 受領
- 技術キャラバン活動により、更なるRFQ獲得に向けマーケティング活動推進中
- ビジネス拡大に向けてBharat Mobility Showに出展予定(2025年1月)



※技術キャラバン活動



イメージ

※上記写真は2024年7月に開催された「人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA」出展時 2025年1月のBharat Mobility Showへは Uno Minda Tachi-Sとして参加予定

“深いシンカ”では市場の拡大に取り組んでおります。

まず、アセアン地域につきましては、フレーム関係部品で、すでに3車種の受注が確定しています。それに伴い、昨年10月にお客様の車両生産工場の近くに当社の工場を設け、お客様のニーズに対し、きめ細かい対応ができる体制を整えました。また、今後の更なるビジネス拡大を目指し、来年4月には工場の拡大を計画しています。

部品ビジネスにおいては、アセアン地域のパートナーとの協業を通じ、アセアン地域での拠点の相互活用やさらなるビジネス拡大に向けたマーケティング活動の強化について検討に入っています。

一方、インドでは、部品ビジネスとして、フレーム構成部品であるリクライナーにおいて、既に2件の受注を獲得しています。また、追加の商談も進めています。

これらのリクライナーで作った実績を基に、対象をスライド、リフターなどに広げ、マーケティング活動を展開しております。そして、インドにおけるシートビジネスでは、部品ビジネスの実績が認められ、各OEMより引き合いをいただいています。

また、日本・インドチーム共同による技術キャラバン活動を展開し、マーケティング活動を強化しております。なお、来年1月に開催されるインド最大のモビリティショーであるBharat Mobility Global Expoに出展し、当社の認知度の向上を図っていきます。

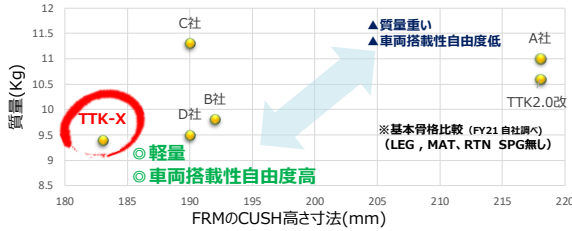
タチエス新型標準FRフレーム（TTK-X）2024年～MEXから量産開始
EVを筆頭にグローバルでの提案活動の拡大本格化

タチエス新型標準骨格 TTK-X

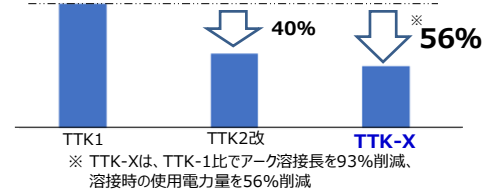
- 業界**最軽量**の標準FRフレーム
- BACK, CUSHの**薄型化**により様々な用途のシートに適用し快適な車室内空間の実現
- **CO2排出の少ない**レーザー溶接、バルジ締結の採用



■ 業界最軽量・薄型の標準FRフレームの実現



■ CO2排出量の低減



■ TTK-X 搭載の最初の車種 KICKS 2024年6月～ 量産開始



次に、タチエス新型標準フロントフレームについて、当社の標準フロントフレームTTKシリーズの最新型TTK-Xが2024年6月よりメキシコで量産を開始しました。

当社の調査ではありますが、TTK-Xは左下の表で示す通り業界で最軽量に加え、薄型化も実現しております。あわせて、レーザー溶接を最大限採用することで、CO2排出量の低減にも貢献しております。

今後、その高い車両搭載性と快適な車室内空間を提供価値とし、グローバルでBEVを含めた様々な車種への採用拡大を進めていきます。

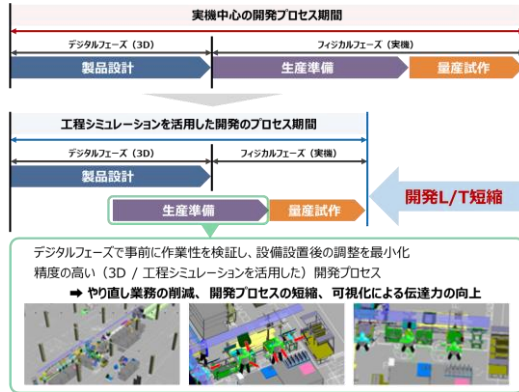
生産工程シミュレーションによる生産準備の効率化

■ 短期開発プロセスへの対応

- ・ シミュレーション活用による開発リードタイムの短縮
- ・ デジタルフェーズの検討精度向上（生産準備における機会損失抑制）

生産工程の変更をデジタル検証することで生産準備時間の短縮及びやり直し業務の削減を実現

変化点を可視化することでムダの無い工事を実現

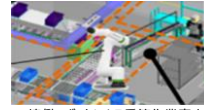


スマート工程による生産の効率化

■ 少子高齢化、生産労働人口減少、人件費高騰への対応

- ・ 人にやさしい工程づくり（作業のバリアフリー化）

全従業員が働きやすい作業工程整備
→ 作業工程の改善と設備導入



協働ロボットによる重筋作業廃止

- ・ 人にやさしい職場づくり（職場のダイバーシティ化）

全従業員が働きやすい職場環境整備
→ 作業環境・施設の改善と導入



工場 休憩所

・ MES導入による業務効率の向上



MES導入に向けたアナログ業務の全面的な見直しにより、業務効率の向上を図る

次に「モノづくり競争力」の取り組みについて説明いたします。

短期開発プロセスの実現に向けて、生産準備のデジタルフェーズにおいては生産工程シミュレーションの活用により工程設計の精度を向上させ、生産準備時間全体の短縮や、やり直し業務の削減に取り組んでいます。また、生産工程のデジタル検証により、早い段階から上流の開発チームとの協業を行うことで、開発プロセスのリードタイムは従来よりも約20%以上短縮出来ており、今後更なる向上を図っていきます。

スマート工程では、少子高齢化、生産労働人口減少、人件費高騰など製造業が抱える課題解決のため、デジタル技術の活用とロボットによる自動化技術の具現化に取り組んでおります。

これらの取り組みによりモノづくり競争力の強化を進めております。

移動体験価値・乗車体験価値の創出

人とするまのテクノロジー展2024 NAGOYA出展

日時 2024年7月17日（水）～7月19日（金） 10:00～17:00
会場 Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）ホールD・E・F

次世代に向けたコンセプトを具現化し、シート着座での実体感を可能にする展示

移動マイルーム

『なにげない日常に+αする快適さ、ちょうどよさ、居心地の良さ』



スマートシート “EXCITE”
『乗る度に楽しい、乗る度に好きになる』



スマートシート “RELAX”
『落ち着いた自分空間で快適な移動を』

車室内での体験の質を向上させ、シートを中心とした多様な移動体験価値を創出しお客様に提供する



次に“進むシンカ”の取り組みについて説明させていただきます。

今期は「人とするまのテクノロジー展名古屋」に出展しこれからのシートに求められる楽しさや快適性をコンセプトに、移動マイルームやスマートシート“EXCITE”、“RELAX”という形で具現化し、極上の座り心地を多くのご来場の皆様に体験していただきました。

今後はお客様へ提供する移動体験価値を、より質の高い、より臨場感のある、多様な価値を創出することを追求していきます。

また右の図で示すように、五感をアプローチのポイントに、ハードとソフトを融合し、今までにない体験の質を再現・向上させ、移動する車室空間でシートを中心とした体験価値を創出し提供していきます。

それらの実現に向けて、様々な業種の企業と連携し、“進むシンカ”の開発を加速させていただきます。

事業ポートフォリオを変革し、両輪となる新しい事業を創出

参入領域抽出の考え方

当社のパーパス“座る”を追求し人と地球を支える、製品、取り組みとの親和性、市場の魅力度から参入領域を抽出



シートから広がり空間プロデューサーと新規ビジネスの両輪の姿を目指す

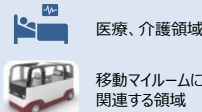
参入領域検討

ビジネスモデル検討

シート事業で培った3つの強みを新規事業に活かす

1. システム開発力
 - ・ 製品に求められる性能のトレードオフを最適化し、作り上げる力
2. モノづくり力
 - ・ 製品設計、工程設計・工程管理をそれぞれの機能が互いに理解し、全体最適を追求する力
3. 品質力
 - ・ 開発初期段階から開発機能、生産機能が連携することで作り込まれた高い品質力

例)



新規事業

シート事業

次に、“新しいシンカ”の取り組みについて説明させていただきます。

当社のパーパス、製品、取り組みとの親和性や、市場の魅力度から、新事業としての参入領域の検討を進めております。

シート事業で培われている、特に3つの強み、製品に求められる性能のトレードオフを最適化し作り上げる、“システム開発力”、製品設計、工程設計・工程管理をそれぞれの機能が互いに理解し、全体最適を追求する“モノづくり力”、開発初期段階から開発機能、生産機能が連携することで作り込まれた高い“品質力” これらを、新規事業に活かしていく考えでおります。

今後、参入領域やビジネスモデルの検討を進め、来年5月に公表を予定している次期中期経営計画の中で、“新規事業領域”としてお話する予定です。

人権活動

■人権方針策定と公開

- ・人権に関する取組みを方針としてまとめ社内外に公表



■社外専門家による評価

- ・人権に特化した専門家と共に人権リスクの評価を実施し重大な懸念なし

ダイバーシティ

■女性活躍社会の実現に向けて

- ・社内説明会を実施し8割の従業員が共感
- ・今後は役員とのディスカッション、研修、職場環境改善と制度構築を予定

■男性育児休暇の促進

- ・株式会社ワーク・ライフバランスが推進する「男性育休100%宣言」に賛同

気候変動（国内CO₂排出削減）

■省エネ推進

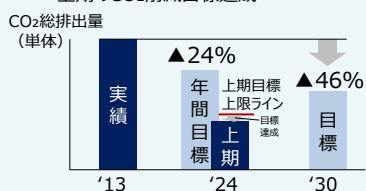
- ・生産設備の小型化と待機電力削減
→CO₂排出量▲24トン/年（見込み）

■再エネ導入

- ・太陽光発電開始（武蔵工場）



→上期のCO₂削減目標達成

■原材料のCO₂（スコープ3）削減取り組み

- ・リサイクル樹脂材料のシート部品への適用
に向けて材料特性や材料動向調査を実施中

グループのESG取組み

■ESG認定取得（ブラジル）

- ・パラナ州産業連盟からタチエスブラジルのESGの取り組み向上活動に対する成果が認められ認定を取得



主な取組み事例

- (E) 使い捨てカップゼロ化



- (S) ダイバーシティ教育実施



- (G) タチエスグループのビジョン・ミッション・バリューの理解促進



ここからはESGの取り組みを報告します。

当社は国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」など国際的な人権原則に賛同しており、人権方針を策定し6月に公開しました。また、人権の専門家と共に自社グループの評価を実施し重大な人権リスクは無いことを確認しております。

ダイバーシティの取り組みでは日本の女性活躍社会の実現に向け、タチエスの取り組みや考えについて説明会を実施し、8割以上の従業員がこの内容を前向きに捉えています。また、男性の育児休暇を促進する活動も積極的に行っております。

続いて気候変動の取り組みでは、省エネ活動として、生産設備の小型化と待機電力削減によるCO₂削減活動を継続しています。年間換算すると24トンの削減を見込んでいます。

また、再生可能エネルギーの導入については新たに武蔵工場で太陽光発電を開始しました。これらの効果もあり、24年度上期のCO₂削減目標を達成しております。

スコープ1、2の自社のCO₂排出以外の、スコープ3の原材料のCO₂排出については生産時のCO₂が少ないリサイクル樹脂などの活用に向けて、材料特性やリサイクル素材市場の動向を調査しています。

海外グループ会社では、タチエス ブラジルで企業のESGの取り組み向上活動に対する成果が認められ、パラナ州産業連盟から認定を取得しました。

国際福祉機器展（H.C.R展）に出展

H.C.R.2024 第51回国際福祉機器展&フォーラム
東京ビッグサイト 東展示ホール 10月2日(水)~4日(金)

■「キネティックシート」（トヨタ自動車様ブース）

- ・トヨタ自動車様のキネティックシート開発にタチエスが参画
- ・乗員の動きに合わせてシートの中身が動くことで、体幹の弱い下肢障害の方の運転姿勢を安定化
 - 疲労を軽減し「行きたい所へ行ける」を応援
 - 障害に関係なく全て人に運転の楽しさ、疲労軽減を提供



■「キャスター付オットマン連動リクライニングチェア」（タチエスH&P）

- ・在宅介護が増える社会に向け、座り心地の良い1人掛けソファを出展
 - アームレストを下げてソファからベッドに簡単に移動可能
 - キャスター付きで介助者の負担を軽減



■「立上り補助いす」（TF-METAL）

- ・シート機構部品開発の技術を活かし、足腰が不自由な方に向けて立上り補助いすを出展
 - 自然な立ち上がりをサポートする理想的な補助力を追求（補助力調整も可能）



20/23

続いて、ESG活動の一環として、当社グループは毎年国際福祉機器展への出展を行っております。

今年のトヨタ自動車様のブースではキネティックシートが展示されました。キネティックシートは乗員の動きに合わせてシートの中身が動くことで、体幹の弱い下肢障害の方の運転姿勢を安定化させます。また障害がない方にも同様の効果があり、すべての人に運転の楽しさと疲労の軽減を提供するものです。当社はこれからの多様性社会の実現のための取り組みに賛同し、このシート開発に協働しています。

また、人工透析用ベッドやチェアなどを開発・生産するグループ会社のタチエスH&Pからは、在宅介護が増えていく社会に向け、長時間でも座り心地が良く、多機能な1人掛けソファを出展しました。こちらはアームレストを下げてソファからベッドにスライドするように移動ができ、介助者の負担を軽減します。

自動車用シートのリクライニング機構部品などを開発・生産するTF-METALからは、その技術力を活かし足腰が不自由な方に向け、立ち上がりを補助するイスを出展しました。補助力の調整が可能で自然な立ち上がりをサポートします。

2030年度に向けてのロードマップ



次期中期計画を2025年5月に公表予定

以上、現中計の中で当社が進めている取り組みについていくつか紹介させて頂きました。

なお、現在鋭意進めております中期経営計画 TVEの再生・強化期間は今年度で最終年度となります。次期中期経営計画に関しましては、当社の2030年度のありたい姿に向けた方針と具体的な取り組みを併せて来年5月に説明させて頂く予定であります。

1. 2025年3月期 第2四半期 決算実績

2. 2025年3月期 通期 業績見通し

3. 上期事業活動

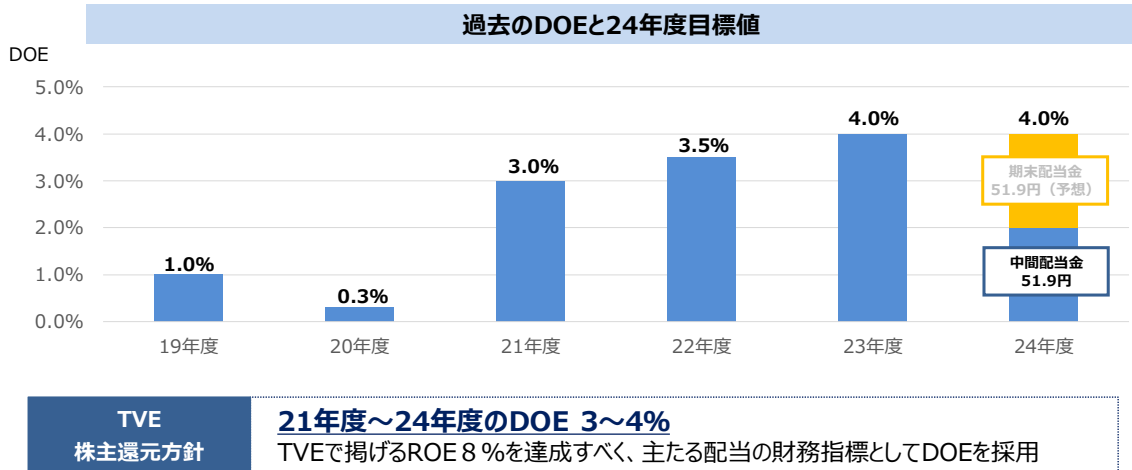
4. 株主還元

最後に、株主還元について説明させていただきます。

TVEの株主還元方針に変更なし 24年度はDOE※4%を堅持

※DOE : Dividend on Equity Ratio
(連結自己資本配当率)

・ 24年度 : DOE 4.0% (目標) 103.8円 / 株 (予想)



23/23

当社は、主たる配当の財務指標としてDOEを採用し、21年度から24年度でDOEを3～4%に引き上げる方針で進めて参りました。

24年度の経営目標であるROE必達8%は変更していないことから、TVE指標であるDOE4%を維持することとし、1株当たりの年間配当金予想は103.8円となります。これは23年度と比べて11円の増配予想となります。

そのため、24年度の間配当金は、1株当たり51.9円といたしました。

“座る”を追求し人と地球を支える



Global Seat System Creator

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来に関する見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、不確実性やリスクを含んでおります。

したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと異なる可能性がありますことをご了承下さい。

2025年3月期 第2四半期決算、及び中期経営計画進捗状況の説明は以上となります。

当社タチエスは、様々な事業環境の変化に対し引き続き柔軟に対応し、各地域事業が目標とする利益を確実に創出できる収益構造への変革に取り組んでおります。また、更なる飛躍に向け“3つのシンカ”の活動により競争力向上を図ると共に事業ポートフォリオの変革に向けた準備を加速していきます。

引き続き皆様方のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

株式会社タチエス、創立70周年 ～100年企業に向け共に創り上げていく～

1954年4月7日に「立川スプリング株式会社」として、東京都立川市に設立したタチエスは、2024年となる本年、創立70周年を迎えることができました。これもひとえに、お得意先様、仕入先様、地域社会の皆様、社員をはじめ、当社とともに歩んでくださった皆さまのおかげであり、心より感謝申し上げます。

タチエスグループがこの先の10年、20年、そして100年企業に向けてこれからも成長を続けられるよう、尚一層精進いたす所存です。今後とも皆さまの変わらぬご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

※『互譲協調』とは、「人と人との和」を大切にし、思いやり・助け合いの精神の下、ステークホルダーとの信頼に基づく真のパートナーシップを築き、社業の発展を通じて社会に貢献する姿勢を意味します。



社是「互譲協調」の
記念碑



70周年記念式典にて
参加者に向けてメッセージを送る社長の山本

受賞

ブラジル	ESG活動に対する認定を取得 【TACHI-S Brasil Industria de Assentos Automotivos Ltda】	ニュースリリースへ
中国	2024年度 Nissan Regional Quality Awardを受賞 【大連東風李爾泰極愛思】	ニュースリリースへ Photo-1
	2024年度 東風日産 量産品質賞を受賞 【鄭州東風李爾泰新】	ニュースリリースへ Photo-2
	2024年度 東風日産 新車品質賞を受賞 【鄭州東風李爾泰新】	ニュースリリースへ Photo-3



出展

日本	「第69回日本透視医学会学術集会・総会」に出展 【タチエスH&P】	ニュースリリースへ
	「人とくるまのテクノロジー展2024 NAGOYA」に出展	ニュースリリースへ
	「H.C.R.2024 第51回国際福祉機器展＆フォーラム」に出展 【タチエスH&P】	ニュースリリースへ



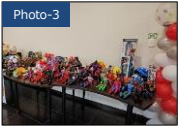
周年記念

日本	創立70周年記念式典を開催	ニュースリリースへ Photo-4
中国	創立20周年記念イベントを開催 【広州泰李】	Photo-5

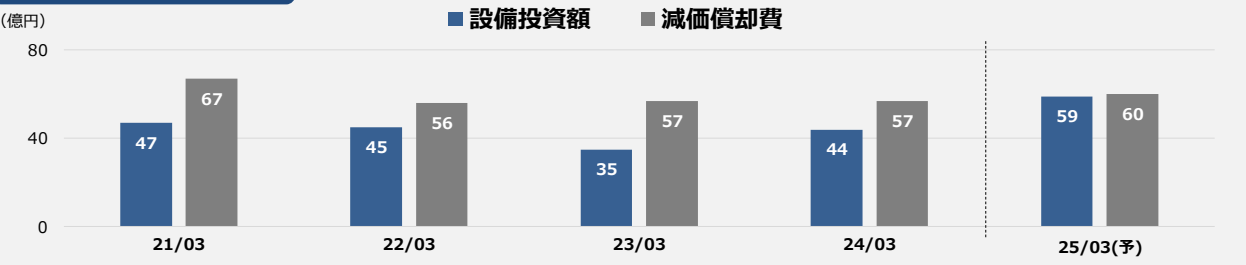


ESG

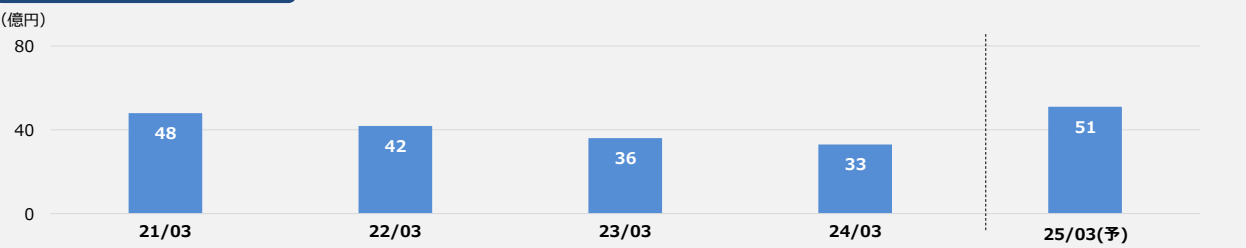
日本	「タチエスグループ人権方針」を公開	ウェブサイト サステナビリティ・ページへ
	産業廃棄物を肥料として再利用する取り組みを実施 【TF-METAL】 ・愛知県豊橋市、大分県中津市へ肥料を寄贈（豊橋市内75校、中津市内20校） ・浜名湖花博2024に協賛、肥料のPR配布を実施 ・こさい環境フェアに参加、肥料のPR配布を実施 ・肥料の梱包等作業において、袋井特別支援学校と共同活動を実施	Photo-1
	湖西警察署・安全運転管理協会より、24年度 安全運転管理推進事業所に任命【TF-METAL】	-
	会社周辺道路の草刈りとごみ拾いを実施 【TF-METAL】	-
	フードロスへの取り組みを実施 【タチエスサービス】	-
メキシコ	ツリー寄付キャンペーン 【TACHI-S Mexico】	Photo-2
	子ども家庭への玩具の寄付 【SETEX Automotive Mexico】	Photo-3
	小学校用机・黒板の寄付 【TF-METAL Mexico】	Photo-4
中国	周辺学校の通学時交通安全維持活動【襄陽東風李爾泰極愛思】	Photo-5
	大学生の会社見学活動 【襄陽東風李爾泰極愛思】	Photo-6
	環境保護ボランティア活動 【広州泰李】	Photo-7
タイ	孤児院への寄付 【TACHI-S (Thailand) 】	Photo-8
	献血によるタイ赤十字社への支援 【TACHI-S (Thailand) 】	-



設備投資額・減価償却費



研究開発費



24年度 新規・マイナーモデルチェンジ車種

	2024										2025		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
Japan			 FAIRLADY Z (M)	 OUT LANDER (M)	 N-BOX JOY  N-VAN e:	 OUT LANDER (M)  ECLIPSE CROSS (M)		 (M)	 (M)				
Mexico	 Coupe SUV (M)  Compact SUV (M)		 KICKS		 VERSA (M)  FRONTIER (M)		 SENTRA (M)		 (M)	 (M)	 (M)		
China ASEAN					 江豚				 			 	

●NISSAN ●HONDA/ACURA ●MITSUBISHI ●TOYOTA/HINO ●OTHER
(M) : マイナーチェンジ Model Year

(単位：円)

	21/03	22/03	23/03	24/03	25/03(予)
USD	105.79	112.06	135.07	143.83	150.00
MXN	5.02	5.38	6.50	7.91	8.30
EUR	123.22	130.54	140.86	156.26	164.00
RMB	15.41	16.94	19.42	19.79	21.00

売上高の推移（連結）－圏別 売上高－

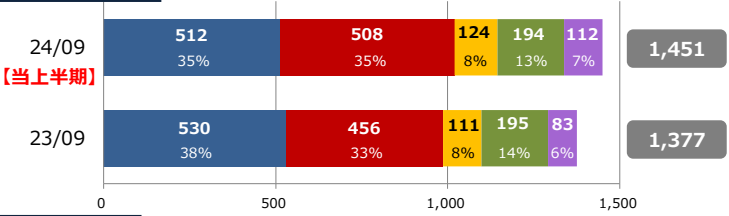


圏別 売上高

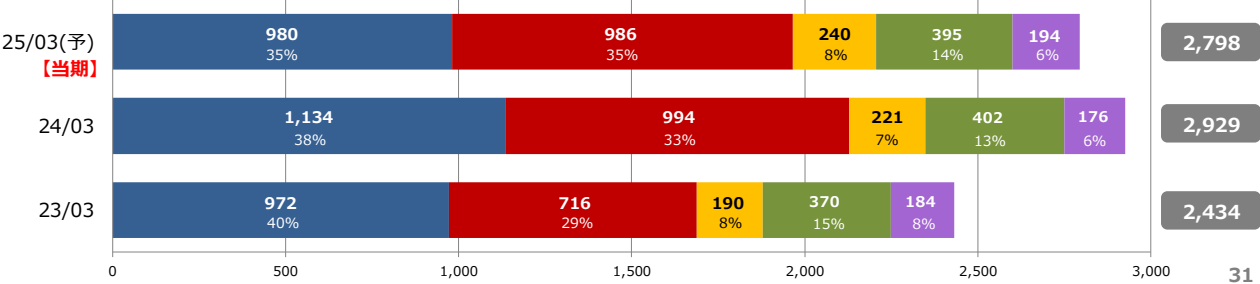
■ ホンダ圏 ■ 日産圏 ■ トヨタ圏 ■ 三菱圏 ■ その他

単位：億円
(億円未満切捨て)

上半期前期比



通期前期比



売上高の推移（連結）－所在地別 売上高－

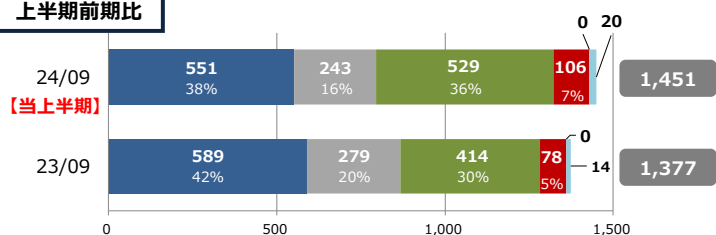


所在地別 売上高

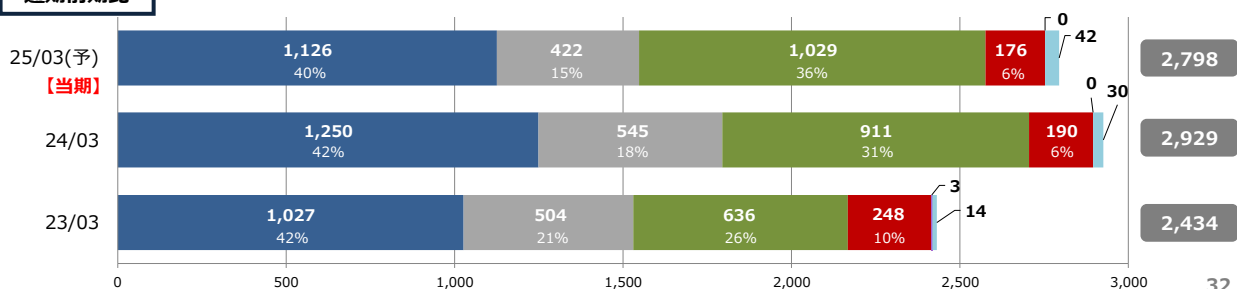
■ 日本 ■ 北米 ■ 中南米 ■ 中国 ■ 欧州 ■ 東南アジア

単位：億円
(億円未満切捨て)

上半期前期比



通期前期比



利益の推移（連結）－所在地別 営業利益－

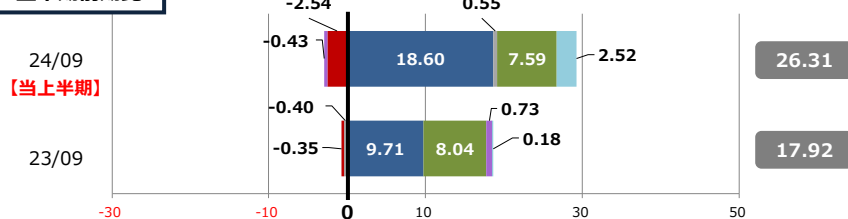


所在地別 営業利益

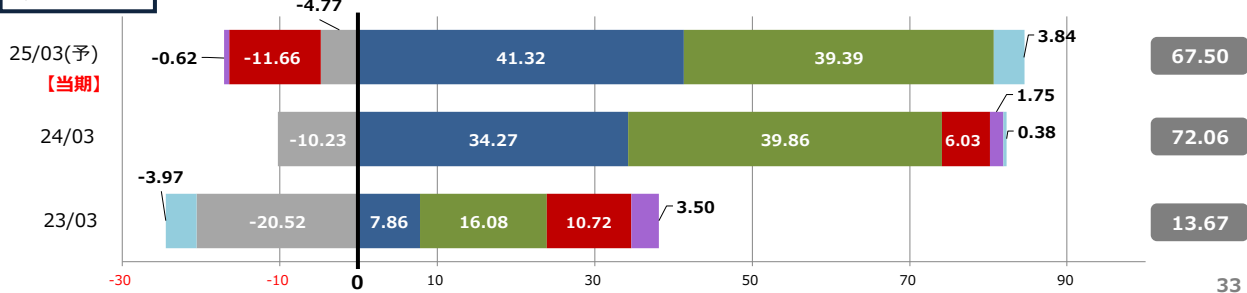
■ 日本 ■ 北米 ■ 中南米 ■ 中国 ■ 欧州 ■ 東南アジア

単位：億円

上半期前期比



通期前期比



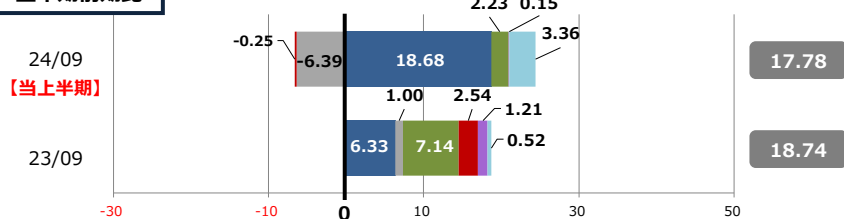
利益の推移（連結）－所在地別 経常利益－

所在地別 経常利益

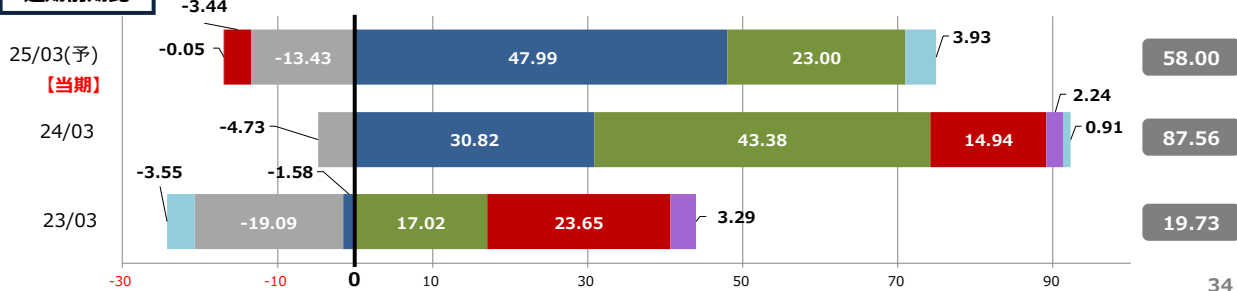
■ 日本 ■ 北米 ■ 中南米 ■ 中国 ■ 欧州 ■ 東南アジア

単位：億円

上半期前期比



通期前期比



事業所一覧（日本）



拠点名	所在地	業務内容	主な納入先	開設 年月
本社／技術・モノづくり センター	東京都青梅市	本社機能 営業・調達・設計・開発・ 実験・生産・品質等技術全般	－	1954年 4月 ※2012年 4月 TTMC開設 2022年12月 本社移転
技術センター愛知	愛知県安城市	営業・調達・設計・開発	－	1999年 8月
愛知工場	愛知県安城市	自動車座席・座席部品の製造	三菱自動車、トヨタ紡織	1977年 4月
武蔵工場	埼玉県入間市	自動車座席・座席部品の製造	本田技研工業、日産車体、 日野自動車	1980年 1月 ※2022年12月平塚工場移転
青梅工場	東京都青梅市	試作 自動車座席・座席部品の製造	日野自動車	1969年 4月
栃木工場	栃木県下野市	自動車座席・座席部品の製造	日産自動車、日野自動車	1982年 2月
鈴鹿工場	三重県鈴鹿市	自動車座席の製造	本田技研工業	1984年10月

24年9月30日時点

関係会社一覧（日本）



連結 範囲	会社名	所在地	資本金	主な事業内容	主な納入先	出資比率 ()は間接所有を含む	設立 年月	決算期
◎	株式会社TF－METAL	静岡県 湖西市	百万円 50	自動車座席部品の 開発、製造、販売	タチエス、 錦陵工業、 TF-METAL Mexico	100.0%	2017年 5月	3月
◎	株式会社Nui Tec Corporation	東京都 青梅市	百万円 325	自動車座席用縫製部品の 製造、販売	タチエス、 トヨタ紡織東北	100.0%	2006年 7月	3月
◎	株式会社タチエスH&P	東京都 青梅市	百万円 40	各種バネ・自動車等 座席部品・医療用ベッドの 製造、販売	タチエス、 TF－METAL、 自動車関連以外	100.0%	1961年 4月	3月
○	錦陵工業株式会社	福岡県 京都郡	百万円 100	自動車座席・座席部品の 製造、販売	日産自動車	25.0%	1976年 2月	3月
◎	株式会社TF－METAL磐田	静岡県 磐田市	百万円 15	自動車座席部品の製造、販売	TF－METAL、 日本発条	(100.0%)	1986年 10月	3月
◎	株式会社TF－METAL九州	大分県 中津市	百万円 10	自動車座席部品の製造、販売	TF－METAL、 ジェイテクトラムシステム	(100.0%)	1985年 7月	3月
◎	株式会社TF－METAL東三河	愛知県 新城市	百万円 10	自動車座席部品の製造	TF－METAL	(100.0%)	1986年 10月	3月

□ タチエスサービス株式会社

◎ 連結子会社

6社

△持分法適用の非連結子会社

－

○持分法適用の関連会社

1社

□非連結子会社

1社

※持分法非適用の関連会社

－

関係会社一覧（北米）



連結 範囲	会社名	所在地	資本金	主な事業内容	主な納入先	出資比率 ()は間接所有を含む	設立 年月	決算期
◎	TACHI-S Engineering U.S.A., Inc.	米国 ミシガン州	百万USD 43	北米における 営業、開発業務及び統括管理	－	100.0%	1986年 7月	3月
◎	TF-METAL Americas Corporation	米国 ミシガン州	百万USD 0	米州における統括管理、開発	－	(100.0%)	2000年 7月	3月
◎	SETEX, Inc.	米国 オハイオ州	百万USD 5	自動車座席の製造、販売	北米本田	(51.0%)	1987年 9月	3月
◎	TACHI-S Automotive Seating U.S.A., LLC	米国 テネシー州	百万USD 22	自動車座席の製造、販売	北米日産	(100.0%)	2005年 12月	12月
○	TechnoTrim, Inc.	米国 ミシガン州	百万USD 0	自動車座席用縫製部品の 製造、販売	北米主要 シートメーカー	(49.0%)	1986年 11月	3月
◎	TF-METAL U.S.A., LLC	米国 ケンタッキー州	百万USD 10	自動車座席部品の製造、販売	TAS-U.S.A.、 TF-METAL Mexico	(100.0%)	2004年 3月	3月

◎ 連結子会社 5 社 △ 持分法適用の非連結子会社 － ○ 持分法適用の関連会社 1 社 □ 非連結子会社 － ※ 持分法非適用の関連会社 －

関係会社一覧（中南米・欧州）



連結 範囲	会社名	所在地	資本金	主な事業内容	主な納入先	出資比率 ()は間接所有を含む	設立 年月	決算期
◎	TACHI-S Engineering Latin America, S.A. de C.V.	メキシコ アグアス カリエンテス州	百万MXN 2,184	中南米における 開発業務及び統括管理	－	(100.0%)	2012年 5月	12月
◎	Industria de Asiento Superior, S.A. de C.V. (TACHI-S Mexico)	メキシコ アグアス カリエンテス州	百万USD 26	自動車座席・座席部品の 製造、販売	メキシコ日産	(100.0%)	1991年 4月	12月
◎	SETEX Automotive Mexico, S.A. de C.V.	メキシコ グアナフアト州	百万USD 24	自動車座席の製造、販売	メキシコ本田	(95.0%)	2012年 9月	12月
◎	TF-METAL Mexico, S.A. de C.V.	メキシコ アグアス カリエンテス州	百万USD 27	自動車座席部品の製造、販売	TSM、 フォーレシア	(100.0%)	2012年 6月	3月
◎	TACHI-S Brasil Industria de Assentos Automotivos Ltda.	ブラジル リオデジャ ネイロ州	百万BRL 525	自動車座席の製造、販売	ブラジル日産 ルノーブラジル	(100.0%)	2012年 8月	12月
◎	TACHI-S Engineering Europe S.A.R.L.	フランス ムードン・ラ フォレ市	百万 EUR 23	欧州における営業業務 及び 自動車座席部品の 製造、販売	タチエス	100.0%	2004年 10月	3月

◎ 連結子会社 6社 △持分法適用の非連結子会社 — ○持分法適用の関連会社 — □非連結子会社 — ※持分法非適用の関連会社 —

関係会社一覧（中国-1）



連結 範囲	会社名	所在地	資本金	主な事業内容	主な納入先	出資比率 ()は間接所有を含む	設立 年月	決算期
◎	泰極愛思（中国） 投资有限公司	中国 広東省	百万RMB 259	中国における 営業、開発業務及び統括管理	－	100.0%	2011年 10月	12月
△	泰極愛思（鄭州）汽車 座椅研究有限公司	中国 河南省	百万RMB 75	中国における開発業務	－	(100.0%)	2015年 12月	12月
◎	広州泰李汽車座椅有限公司	中国 広東省	百万RMB 66	自動車座席の製造、販売	アディエント 東風日産	51.0%	2004年 11月	12月
◎	湖南泰極愛思汽車座椅有限公司	中国 湖南省	百万RMB 40	自動車座席の製造、販売	広汽三菱汽車	(51.0%)	2012年 7月	12月
◎	襄陽東風李爾泰極愛思 汽車座椅有限公司	中国 湖北省	百万RMB 30	自動車座席の製造、販売	東風日産	(51.0%)	2013年 7月	12月
○	鄭州泰新汽車内飾件有限公司	中国 河南省	百万RMB 11	自動車座席の製造、販売	鄭州日産 奇瑞汽車	50.0%	2001年 7月	12月
◎	武漢東風泰極愛思延鋒 汽車座椅有限公司	中国 湖北省	百万RMB 43	自動車座席の製造、販売	東風本田	50.0%	2008年 6月	12月

関係会社一覧（中国-2）



連結 範囲	会社名	所在地	資本金	主な事業内容	主な納入先	出資比率 ()は間接所有を含む	設立 年月	決算期
○	大連東風李爾泰極愛思 汽車座椅有限公司	中国 遼寧省	百万RMB 50	自動車座席の製造、販売	東風日産	(49.0%)	2013年 8月	12月
※	鄭州泰之新 汽車座椅有限公司	中国 河南省	百万RMB 53	自動車座席、座席部品の 製造、販売	—	(49.0%)	2019年 6月	12月
※	武漢東実李爾泰極愛思 汽車座椅有限公司	中国 湖北省	百万RMB 50	自動車座席の製造、販売	東風日産	(34.0%)	2019年 11月	12月
◎	泰極（広州）汽車内飾有限公司	中国 広東省	百万RMB 38	自動車座席用縫製部品の 製造、販売	タチエス	100.0%	2005年 9月	12月
◎	泰極愛思（武漢）汽車 内飾有限公司	中国 湖北省	百万RMB 35	自動車座席用縫製部品の 製造、販売	武漢東泰延	(100.0%)	2013年 10月	12月
◎	浙江泰極信 汽車部件有限公司	中国 浙江省	百万RMB 251	自動車座席部品の製造、販売	タチエス TAST	(82.8%)	2019年 12月	12月

◎ 連結子会社 8社 △持分法適用の非連結子会社 1社 ○持分法適用の関連会社 2社 □非連結子会社 ー ※持分法非適用の関連会社 2社

関係会社一覧（東南アジア）



連結 範囲	会社名	所在地	資本金	主な事業内容	主な納入先	出資比率 ()は間接所有を含む	設立 年月	決算期
◎	TACHI-S (Thailand) Co., Ltd.	タイ バンコク都	百万THB 771	東南アジア、インドにおける 統括管理		100.0%	2011年 9月	12月
◎	TACHI-S Automotive Seating (Thailand) Co., Ltd.	タイ バンコク都	百万THB 153	自動車座席・座席部品の 製造、販売	タイ日産 タイ三菱	100.0%	2010年 4月	12月
□	TACHI-S Engineering Vietnam Co., Ltd.	ベトナム ホーチミン市	百万VND 31,026	ベトナムにおける開発業務		100.0%	2013年 1月	12月
※	Uno Minda TACHI-S Seating Private Limited	インド デリー準州	百万INR 134	自動車座席部品の製造、販売		49.0%	2022年 10月	3月
□	APM TACHI-S Seating Systems Vietnam Co., Ltd.	ベトナム ダナン市	百万VND 56,567	自動車座席の製造、販売		(51.0%)	2016年 11月	12月
※	APM TACHI-S Seating Systems Sdn. Bhd.	マレーシア スランゴール州	百万MYR 5	自動車座席の製造、販売		(49.0%)	2013年 2月	12月

◎ 連結子会社 2社 △持分法適用の非連結子会社 ー ○持分法適用の関連会社 ー □非連結子会社 2社 ※持分法非適用の関連会社 2社

お問い合わせ先

株式会社タチエス 経営企画室

〒198-0025

東京都青梅市末広町1-3-1 （本社／技術・モノづくりセンター）

電話： 0428-33-1138

E-mail： ts-kikaku@tachi-s.co.jp

担当： 中村、鶴田、高梨、牧之内